

取組分野

目指すべきまちの姿
(まちづくり戦略ビジョン、アクションプラン2015より)

ICT活用戦略の取組項目

【生活】
安全・安心・快適
なまちづくり

- ・共生と交流により人と人がつながるまち
- ・多様な地域課題を解決できるまち
- ・安心して子どもを生み育てられるまち
- ・誰もが健康的で安心して暮らせるまち
- ・地域防災力が強く災害に強いまち
- ・安全な日常生活が送れるまち
- ・豊かな自然と共生するまち
- ・資源やエネルギーを有効活用するまち
- ・公共交通を中心とした集約型のまち
- ・都市の価値を高めるみどりを生かしたまち
- ・都市基盤が適切に維持・保全されるまち

戦略1-1
ICTによる暮らしの質の向上

利便性が高く、快適な生活を実現するためにICTを活用し、生活の満足度を高め、札幌に暮らし、住み続けたいと考える人を増やす。

戦略1-2
ICTによる安全・安心の実現

防災・防犯、保健・医療・介護・福祉の質の向上に資するICT活用を進め、安全な環境の中で、市民が安心して暮らせるまちをつくる。

【経済】
産業の振興
・雇用の創出

- ・強みを生かした産業が経済をけん引するまち
- ・様々な連携により産業が高度化するまち
- ・市民の雇用が安定的に確保されるまち
- ・強みを生かし世界とつながるまち
- ・地域コミュニティを支える産業を大切にすまち
- ・文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいがうまれるまち
- ・札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心

戦略2
ICTによる産業・仕事づくり

既存企業の競争力向上、ICT企業の振興を図るとともに、札幌への企業誘致・立地を促進し、雇用機会の創出及び多様な働き方の普及・定着により、就業率の向上を図る。

【教育】
教育の充実
札幌人の育成

- ・様々な担い手が地域のまちづくり活動に参加するまち
- ・将来を担う子どもの成長と自立を支えるまち
- ・若者が社会的に自立し活躍できるまち
- ・市民が環境について学び行動するまち
- ・創造的な活動により活力あふれるまち
- ・市民一人一人が魅力を再認識し発信するまち

戦略3
ICTによる人づくり

ICTを活用した学校教育の推進とそのため環境を整備し、次代を担う人材を育成するとともに、生涯学習、芸術・文化・スポーツ、市民活動等、市民の自発的な活動を支援する。

【行政】
効果的・効率的な
行政運営

- ・市民感覚を大切にする行政運営
- ・市民力を結集する行政運営
- ・道内自治体と連携する行政運営

戦略4
ICTによる行政の効率化

信頼され、質の高い行政運営を低コストで実現するため、ICTの効果的な活用や情報・データの提供・公開を図るとともに、セキュリティの強化、個人情報保護を徹底する。

ICT活用戦略の構成

■取組項目

戦略1-1
ICTによる暮らしの質の向上

戦略3
ICTによる人づくり

戦略1-2
ICTによる安全・安心の実現

戦略4
ICTによる行政の効率化

戦略2
ICTによる産業・仕事づくり

■パイロットプロジェクト

重要性や緊急性が高く、戦略を象徴する事業を重点的に推進例)
各種データをリアルタイムに収集、分析することを通じて事業の最適化を図る取組 など

■戦略の推進体制

事業の推進及び進捗管理(事業の評価、見直しなど)を実施するため、産学官連携による推進体制を設置

ICTを活用した取組の視点

■技術トレンドを覗む

ビッグデータ、オープンデータ、AI、クラウドコンピューティング等、その時々々の技術トレンドを覗みながら、これまでにない新たなサービスや、より利便性の高いサービスを実施

■技術・ノウハウの活用

市内の多様な企業・個人、大学・研究機関等が蓄積してきた技術・ノウハウを生かし、ブラッシュアップし、組み合わせることで、課題解決に活用

■札幌のもつ資産の活用

自然が近く、住みやすい都市環境や集積するIT企業や教育研究機関、人的資源など、実験、実証の取組にも適した資産や環境を活かし、企業の参入や市外からの投資などを促進

■ショーケースの意識

冬季オリンピック・パラリンピックの招致活動や各種国際的イベントにおいて、札幌のICTの実力をアピールするとともに、創造都市に相応しいICT関連プロジェクトを実践することで、「ICT活用先進都市」としての魅力を発信

＜プラスアルファの視点＞

- ✓ 新たなチャレンジの支援
- ✓ イノベーションの創出を刺激

課題
解決

札幌発の
オリジナルな
解決手法の開発

ICTを軸とした
産業・まちの活性化

ICT活用先進都市 札幌